

内閣情報部一・一五 情報第四號

ロンドン財界に和平克服の期待
— 同盟來電 — 不發表 —

ロンドン長谷川同盟特派員十四日發

英國官邊は十一日に開かれた御前會議の結果宣戰布告が行はれるのではないかと豫想して居たが、帝國政府が依然時局收拾の希望を捨てない模様でロンドン財界では平和回復の期待が抬頭し、日本公債は十二日以来十一ポイント方昂騰した、ロイテル通信社がロンドン街のこの動きは帝國政府が一層和協的な條件を提示する氣配が強い爲めだと報道して居るが今後二週間内に平和回復の豫想すら一部ブローカー筋には出て來た様子で、蔣介石の身邊に和平氣運が相當強く動き出した證左とも見られて居る

英國政府は目下のところ形勢を觀望してゐる模様だが廣東ロイテル支局は今後少くとも三ヶ月間日本軍は南支に進出せずと觀測してゐる位で極東情勢が政府の重大發表前に何等かの轉機に逢著してゐるか氣配濃厚である

秘

内閣情報部一・一五 情報第五號

駐支大使館日本に再抗議

—同盟來電—不發表—

ワシントン十四日發

米國々務省は十四日日本兵の在南京米國人所有財産の掠奪が依然熾まないので鑑み駐支米國大使は再び日本側に抗議した旨發表した。駐支大使館は日本兵が依然無斷で米人の所有家屋に不法闖入し家財を持出し主として米那人の雇傭者を追ひ出して居ると報告して居る

78